

# SIP防災の成果パネル展示を同時開催

会議の合間に研究担当者に直接、相談や質問が可能です。



戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)  
レジリエントな防災・減災機能の強化

内閣府 / 国立研究開発法人科学技術振興機構

11.6 (火) 11.7 (水) 兵庫県公館 大会議室内

## SIP 防災での取組

### 津波遡上予測

陸域の津波遡上浸水予測を初めて実現。津波検知後数分で高精度（10m メッシュ）な陸上への浸水予測情報を提供。安全な住民避難・迅速な救援活動に貢献。

### 豪雨・竜巻予測

世界初の最新気象レーダ「MP-PAWR (エムピーパー)」を開発。高精度なゲリラ豪雨・強風予測情報を提供。イベント運営から洗濯物の取込みまで活用。

### 液状化対策

巨大地震に対する強靱な社会基盤の実現。24 時間操業を続けたまま調査・耐震診断・耐震対策を早く・安く実施することが可能。

### 情報共有システム SIP4D

様々な災害情報を即時に災害対応機関で共有。数多くの機関・団体が同時並行的に活動する災害時に求められる状況認識の統一と的確な活動に貢献。

### リアルタイム被害推定システム

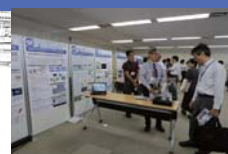
地震発災後 10 分以内に被害推定情報を提供。災害状況の早期推定により、迅速な対応の実現に貢献。

### 非常時通信技術

情報孤立から被災地を救う応急通信システム（ICT ユニット + NerveNet）の実用化。持ち運び可能かつ数十分あればセット完了。通信が途絶えた被災地で迅速な通信の回復に貢献。

### 地域連携

地方自治体や全国各地の企業及び地元自治会の防災・減災にも活用可能な利用者目線に立ったアプリを開発。地域防災力向上に貢献。



戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) は、科学技術イノベーション総合戦略 (平成25年6月7日閣議決定) 及び日本再興戦略 (平成25年6月14日閣議決定) において、総合科学技術会議が司令塔機能を発揮し、科学技術イノベーションを実現するため創設することが決定しました。SIPは、府省・分野を超えた横断型のプログラムであり、総合科学技術会議が課題を特定し、予算を重点配分するものであり、課題ごとにPD(プログラムディレクター)を選定し、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据え、規制・制度改革や特区制度の活用等も視野に入れて推進していくものです。

